

まちの話題

ISA City Topics



北部九州・伊佐ふるさと会



伊佐市のふるさと会は全国に7つあります。7月4日、北部九州・伊佐ふるさと会の総会が開催されました。

総会では、伊佐市の取組みやふるさと納税について紹介しました。懇親会では、ふるさとの話をしたり、なつかしい特産品を購入したり、伊佐を思う一日となったようです。

今年、北部九州・伊佐ふるさと会には20代の会員2人が加入しました。

ふるさと会加入などに関するお問い合わせは、伊佐PR課まで。

広がるドライブレコーダー



市の公用車への搭載をきっかけに、ドライブレコーダー搭載の取り組みが広がっています。

6月22日、㈱富士建設が所有する収集車やトラックなど9台の社用車にドライブレコーダーが搭載され出発式がありました。

㈱富士建設は、安全運転モデル指定事業所にも指定されており、日頃から交通安全に対して高い意識を持っています。

新園社長は、「より一層ドライバーの意識を高めることができれば」と話しました。

薩摩スチューデント派遣事業



薩摩藩英国留学生派遣150周年を記念し、県内から19人の若者を英国に派遣する薩摩スチューデント派遣事業（7月19日～29日）が行われます。

当時の留学生の引率者が新納久脩（大口領主）であったことから、大口高校2年の大山凌加さんが選ばれました。

出発前の13日、大山さんは市長室を訪れ、今回参加する意気込みや抱負を話しました。派遣11日間で、ロンドン大学訪問や現地高校生との意見交換等さまざまなプログラムが計画されています。

社会を明るくする運動



7月1日市役所において、伊佐保護区保護司会をはじめ関係者が参加し、法務大臣と鹿児島県知事からのメッセージを隈元市長に伝達しました。「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について地域の理解を深め、犯罪や非行のない社会を築こうとする全国的な取り組みです。安全安心な地域づくりに努めましょう。

伊佐湧水消防組合野球部



全国官公庁野球連盟第66回中央大会出場
(8月23日～27日 東京都)

100年前の田植え姿



山野小学校4年生7人とその保護者、地域住民らによる田植え体験がありました。

この日は、約100年前のミノとカサが登場。児童たちは初めて見る時代物の道具に興味津々でした。児童たちは田んぼの土に足をとられ泥まみれになりながらも、植え終わるころにはすっかり慣れた様子でした。

今後は生育の様子を観察し、秋に収穫、12月は餅つき、1月にはメノモチ作りを予定しています。

林建設に感謝状



創業50周年を迎えた林建設株式会社から、中学・高校生の教育振興費として多額の寄附をいただきました。ありがとうございます。

このご厚意に対し、深甚なる感謝の意を込め、同社の「労働安全衛生大会」会場において、隈元市長から林隆秀代表取締役へ感謝状が贈られました。

平出水「田植え交流」



6月27日平出水で、JA県経済連主催の田植え交流会があり、鹿児島市から招かれた親子ら70人が参加しました。参加者は手植えや田植え機を体験、長靴を履いていた子ども泥に足をとられることから最後には裸足になり、ぬかるんだ田んぼの感覚に歓声をあげていました。指導にあたった平泉稲作振興会は、昼食に豚汁とおにぎりを振る舞い、有機低農薬米で安全な伊佐米をPRしました。

秋には、収穫体験も予定されています。

伊佐農林高校「最優秀賞」



県内の農業高校生が、日頃の学習成果を発表する「県学校農業クラブ連盟各種発表会」が日置市であり、「地域協働グリーンツーリズムへの挑戦」と題して発表をした伊佐農林高校が文化生活部門で最優秀賞を獲得しました。各部門で最優秀賞を獲得した代表校とともに、8月に熊本県で開催される九州大会に出場します。

春の叙勲

瑞宝単光章 防衛功労(元3等陸尉)



永富訓さん(鳥巢下・61歳)

伊佐さわやかあいさつ運動



市では、明るく元気なまちづくりと健全な青少年の育成のために「伊佐さわやかあいさつ運動」をすすめており、その開始式が7月14日に菱刈中学校で行われました。

主催者あいさつのあと、参加者はのぼり旗を手に校門前であいさつ運動を展開。登校してくる中学生と元気なあいさつを交わしました。また、8月31日まで「あいさつ運動の標語」を募集しています。詳しくは、広報いさ7月1日号4頁をご覧ください。

スターダストジュニア



全九州小学生バレーボール男女優勝大会出場
(8月21日～23日 長崎県)

雨にも負けず「ナイターマラソン」

7月4日、たすきをつなぎ校庭を211周(42.195 km)走る「針持ナイターフルマラソン」が開催されました。

雨で悪条件にも関わらず、市内外から11チーム約300人が参加。ぬかるんだグラウンドを力いっぱい駆け、跳ね上がる泥にも負けず、チームでゴールをめざしました。

優勝は、伊佐湧水消防組合の「消防B」チームで、タイムは2時間23分。その他のチームも3時間以内で完走しました。

